



◆ 地震後も継続使用が可能な給水装置引込み部のご提案

青ポリ管(AW) + 新サドル

■ 給水装置引込み部の耐震設計法を確立。給水装置の耐震化に貢献します

昨今の大地震において給水管の被害が多数報告され、給水装置耐震化のニーズが高まっております。一方で、給水管の耐震設計に関して、明確な基準は示されていませんでした。積水化学では、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会(PWA)に参加する会員各社と協議を進め、地震動レベル2に対応できる給水装置引込み部を開発いたしました。

想定地震動と給水引込み部の耐震性能

想定地震動 レベル2地震動	給水引込み部の耐震性能 耐震性能2
当該施設の設置地点において発生すると想定される地震動のうち、最大規模の強さを有するもの	漏水しないこと、給水装置引込み部に発生するひずみが降伏域に達しないこと、地震後も継続使用が可能な性能を保持すること

※当研究会では、配水管の被害がなくても、給水装置に被害があれば、住民まで水を安定的に届けることが出来なくなると考え、配水管同等の耐震性能を確保することを目標としました。

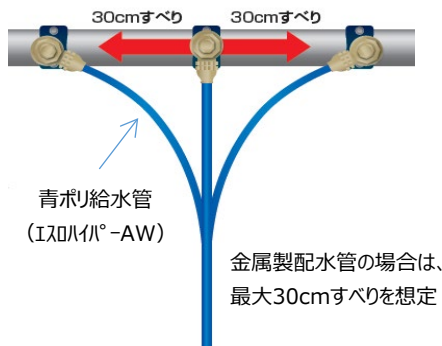


既設配管からの取り出しに最適

■ 埋設実験を実施し、認証委員会※にて耐震性を検証いたしました

※ 学識経験者及び水道事業関係者からなる第三者委員会を設置、確認・検証を実施しました

給水装置引込み部には、地震動による配水管のすべりにより大きな変位が発生、破損・漏水等の原因となります。認証委員会では、それぞれの配管システムに対して、埋設実験を行い耐震性能を確認いたしました。



埋設実験では、実際に配管した給水装置引込み部に強制変位を与え、性能を評価

● 耐震性を有する給水装置引込み部の事例



配水用ポリエチレン管から分岐する場合
融着式サドル、融着継手の組合せ
(融着一体化)



既設の金属製配水管から分岐する場合
耐震性を高めたサドル、融着継手の組合せ



既設の金属製配水管から分岐する場合
耐震性を高めたサドル、金属継手の組合せ

建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会のホームページは、こちらから

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店
土木システム営業所 022(217)0607

東日本支店
東京土木システム営業所 03(6748)6517
関東設備システム営業所 048(646)0160
横浜営業所 045(311)9115
静岡営業所 054(275)0720
甲信営業所 0263(38)1220
東関東営業所 043(204)5070

中部支店
設備システム営業所 052(307)6806

西日本支店
近畿設備システム営業所 06(6365)4510
中国設備システム営業所 082(224)6219
北陸営業所 076(231)4245
京滋営業所 075(662)3418
四国営業所 087(821)2113

九州支店
設備システム営業所 092(271)1314
沖縄営業所 098(943)2780

積水化学北海道(株)
土木営業部 011(737)6330

お客様相談室 03(6748)6480

●お問い合わせは上記各営業所へ



エスロハイパー-JW

製品ページへの
アクセスはコチラ！

エスロンタイムズ
<https://eslontimes.com>